

Headlines

所長あいさつ
平成22年度事業概要
中小企業技術者研修(シーケンス制御課程)のご案内
研究成果発表会のご案内
職員の異動について

Gifu Prefectural Research Institute of Information Technology
1-21 Technoplaza, Kakamigahara, Gifu 509-0109 JAPAN
TEL. 058-379-3300 / FAX. 058-379-3301
URL : <http://www.gifu-irtc.go.jp/>
Mail : info@gifu-irtc.go.jp

所長あいさつ

平素は、当研究所の事業推進にあたりご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ようやく景気の緩やかな回復が期待できるようになりつつありますが、まだ雇用情勢は厳しく、また金融不安の懸念が依然残っていることを鑑みますと、今後も厳しい経済情勢が続くことが想定されています。また、岐阜県では平成22～24年度までの向こう3年間にわたる構造的な財源不足を解消するために「行

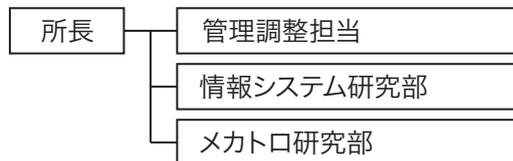
財政改革アクションプラン」を策定し、取り組みをスタートさせたところであります。

危機感を持って事業を運営する必要がありますが、これまで以上にメリハリを付けた研究開発と技術支援を実施し、情報技術・メカトロ技術を活用したモノづくり支援をはじめ、サービス産業など他分野へも展開していく所存です。どうぞ本年度もよろしく願いたします。(所長:河田賢次)

平成22年度事業概要

岐阜県情報技術研究所は、ぎふ科学技術振興プランに基づき、県民生活の向上に貢献する科学技術の振興を目指して、情報・メカトロ技術により産業振興・地域振興を推進します。

組織



研究業務 “役に立つ研究開発”

以下の3つを柱として、ものづくり分野を中心に、サービス分野等への展開も含めた研究開発を行います。

- 新産業の創出と新分野進出の支援
- 産業の高度化・高付加価値化の支援
- 情報・メカトロ技術による地域振興

また、これらのテーマを中心に、企業や大学との共同研究や受託研究を進めます。

技術支援 “質の高い技術支援”

研究所の研究成果やノウハウを企業活動に活かせるよう、各種研修やセミナーを開催します。また、技術相談や依頼試験等も行います。

- 技術相談・技術指導
- 中小企業技術者研修
- 各種セミナー・講習会
- 開放試験室設備利用・依頼試験

研究開発課題(◎は重点研究課題)

- ◎サービス産業における人の行動計測技術の開発とその応用
サービス産業、特に旅館・ホテル業における作業効率を改善するために、作業状態を分析するシステムの研究開発を行います。
- ◎映像の動作解析技術を用いた「ポカよけ」手法の研究開発
組立工程等の製造現場における作業ミス(ポカ)を、カメラ映像からリアルタイムに検出するシステムの研究開発を行います。
- ◎カメラを用いた評価技術の研究
食材の食味に関わる特徴を非破壊かつ迅速・簡単に評価するため、画像処理による評価手法の研究開発を行います。
- ◎ぎふグリーン農業を支援する除草ロボット(アイガモロボット)の開発
環境保全型農業を支援するため、水田内において雑草の繁殖を抑えるロボットの研究開発を行います。
- ◎障がい者の自立生活を支援する福祉機器の研究開発
情報・メカトロ技術を活用し、身体障がい者の自立生活を支援する福祉機器の研究開発を行います。
- ◎デジタルエンジニアリングのための設計支援に関する研究開発
三次元モデル生成技術や、CAD/CAM/CAEを用いた設計支援、VR技術による製品等の事前検討を行うための研究開発を行います。
- ◎メカトロ要素技術の高度化に関する研究
産業機械を制御する組込みソフトウェアの設計支援ツールと、搬送車ナビゲーションに関する研究開発を行います。

中小企業技術者研修(シーケンス制御課程)のご案内

岐阜県では、中小企業の技術者の方々に、専門的技術開発能力、技術に関する基礎的知識及び専門的知識を習得していただき、中小企業の技術力の向上を支援することを目的として「中小企業技術者研修」を実施しています。当研究所では、その一環として、自動化の基本技術となっている「シーケンス制御」について、講義と実習により習得する研修を実施します。

是非、この機会を貴社の人材養成の場として、積極的にご活用いただきますようご案内申し上げます。(メカトロ研究部:横山)

1. 研修内容:シーケンス制御回路、PLC(シーケンサ)入門
2. 受講対象者:県内に事業所を有する中小企業者またはその従業員の方
3. 定員:18名(定員6名の研修を3回実施)
※応募者が多数の場合は各企業1名を優先し、残りを抽選にて決定します。
※受講の決定については、7月2日(金)までにご連絡します。
4. 日程:次の日の内1日
・平成22年7月27日(火)9:00~17:00
・平成22年7月28日(水)9:00~17:00

- ・平成22年7月29日(木)9:00~17:00
- 5. 場所:岐阜県情報技術研究所 2階 会議室
各務原市テクノプラザ一丁目21番地
- 6. 受講料:1人につき約3,000円前後(教材費込)
※受講者数により変動しますのでご了承下さい。
- 7. 研修内容:
 - シーケンス制御回路入門 9:00~12:00
 - ・シーケンス制御概論 (講義)
 - ・電気の基礎知識 (講義)
 - ・基本回路と実習 (講義+実習)
 - ・使用する電気器具 (講義)
 - シーケンス制御回路応用
およびPLC(シーケンサ)入門 13:00~17:00
 - ・シーケンス制御回路 (講義)
 - ・リレーシーケンスによる実習 (実習)
 - ・PLC(シーケンサ)入門 (講義)
 - ・PLC(シーケンサ)実習 (実習)
- 8. 申し込み:当研究所ホームページ記載の申込方法に従い、FAX、またはメールでお申し込みください。
※締め切り:6月25日(金)午後5時まで

研究成果発表会のご案内

当研究所では、地域産業振興に貢献すべく、情報技術やメカトロ技術の研究開発に取り組んでおります。その成果を広く皆様の業務の高度化・差別化の一助にさせていただくため、下記のとおり、(社)岐阜県工業会と共催で、研究成果発表会を開催します。

基調講演では、人の動作を支援する世界初の装着型ロボット「ロボットスーツHAL」の研究開発・成果普及を筑波大学と共同で実施しているサイバーダイン株式会社の坂本光広代表取締役副社長に『ロボットスーツHALの現状と未来』と題してご講演を賜るとともに、HALのデモンストレーションを実施します。

ご多忙中のことは存じますが、是非、ご出席いただきたく、ご案内申し上げます。(情報システム研究部:渡辺)

1. 日時:平成22年7月13日(火)13:30~17:00
※受付は13:00から
2. 場所:アネックス・テクノ2 1階 多目的研修室
各務原市テクノプラザ一丁目21番地
3. 内容:
 - 基調講演 13:35~14:35
「ロボットスーツHALの現状と未来」
サイバーダイン株式会社
代表取締役副社長 坂本光広 氏

- 研究成果報告・研究所紹介 14:45~15:55
 - ・「家具産業におけるサービス工学応用プロジェクト~RFIDを用いたアンケート端末の開発~」
専門研究員 山田俊郎
 - ・「画像を用いた食品評価に関する研究」
主任研究員 田中等幸
 - ・「人物の行動計測技術の開発とサービス産業への応用」
専門研究員 渡辺博己
 - ・「主要設備など研究所の活用方法について」
メカトロ研究部長 飯田佳弘
- デモ/ポスター発表 16:00~17:00
 - ・ロボットスーツHAL
 - ・情報技術・メカトロ技術の研究開発事例
高機能電動車いす、アイガモロボット、ポカよけシステム、非接触三次元計測器 他
- 4. 参加者:企業、一般(定員60名)
- 5. 参加費:無料
- 6. 申し込み:当研究所ホームページ記載の申込方法に従い、FAX、またはメールでお申し込みください。
※締め切り:7月9日(金)
※定員に達した場合には、締め切り前であってもお申し込みを締め切る場合があります。

職員の異動について

- 転入及び雇用
- 課長補佐 市原聡(古川土木事務所より)
 - メカトロ研究部長 飯田佳弘(機械材料研究所より)
 - 専門研究員 川島義隆(セラミックス研究所より)
 - 専門研究員 曾賀野健一(研究開発課より)
 - 日々雇用 山田千絵

- 転出及び退職
- 課長補佐 中島真知子(関有知高等学校へ)
 - メカトロ研究部長 稲葉昭夫(商工政策課へ)
 - 専門研究員 浅井博次(商工政策課へ)
 - 日々雇用 船坂享子